

延岡中学校 学校だより 7月号

※ 学校だよりは生徒・保護者・地域社会の皆様へ学校の様子をお知らせするために作成しています。

1学期の終了に寄せて

1学期は、おおきな事故や怪我等もなく、また、昨年度のように臨時休業になることもなく終業の日を迎えることができそうです。各行事も普段どおりとまではいきませんでした。体育大会や職場体験学習等の学校行事はなんとか実施することができ、県・地区中体連大会や県吹奏楽コンクール等の対外行事にも参加することができました。これらのことは、生徒の皆さんや保護者の皆様、そして延岡市民や県民の皆様全てが、日頃から感染症対策に取り組んだお陰だと思えます。ありがとうございます。

また、今学期は本校で新たな取り組みがありました。3年生全クラスを対象にした論理コミュニケーション遠隔授業です。この授業は慶應義塾大学SFC研究所と延岡市の御支援を受けて、4月30日から計10回（検定2回を含む）、遠方の講師と本校を専用アプリケーションで繋いで実施されました。3年生は、これからの時代を逞しく生き抜いていくために、多数派に依存せず社会に受け入れられる方法で、自分の意見をまとめ発信できる力（論述力）を学ぶことができました。来年2月の高校入試から、県立高校の推薦入試が大きく変わり、これまで以上に自分の意見をまとめ発信していく力が重要となってきます。今回の授業は、その高校入試にも必ず良い影響を与えると考えています。

さて、7月23日から東京五輪が始まりました。大変な時期での開催で、大会の成功を祈るばかりですが、ホームページでも紹介したとおり、女子ハンドボール競技の日本代表主将として、本校卒業生の原希美選手が出場します。他にも本県ゆかりの選手がたくさん出場しますが、大会での活躍を期待したいところです。

最後に、例年、終業式では、生徒代表の皆さんが、今学期の振り返りや2学期に向けての目標等をしっかりと発表してくれます。全校生徒の皆さんも、終業の日（式）を長かった一学期を振り返り、夏休みの過ごし方や2学期の目標について考える機会にしてください。保護者・地域の皆様、1学期中、大変お世話になりました。夏休み中は、子どもたちが基本的に家庭や地域で過ごすこととなります。そのため、子どもたちに役割を持たせるなどして、日頃できない家での手伝いや地域の行事等に参加させ、活躍の場（居場所）を与えていただくと幸いです。

2学期の始業の日（9月1日）に、全ての生徒の皆さんが、心身ともに成長した姿で登校することを願い、一学期のお礼の挨拶といたします。

夏休みは命を守る行動を

終業式や学級の時間等でも話があると思いますが、自然とふれあい自由に過ごす時間が増えるこの夏休みの過ごし方については、自他の命を守る事を最優先に行動するよう心掛けてください。そのために、生徒指導部から出される「よりよい夏休みを過ごすために」や学年通信、学級通信等を参考にしてください。特に水難事故については、注意を払ってください。例年お盆の時期前後に、水の事故の報道が多くあります。大切な命を失うことのないよう自分の命や他者の命を守る行動をとり、危険箇所等には近づかないようにしてください。安易な判断・行動をして自然を傷めることのないようお願いいたします。延岡市内の河川や海岸は、残念ながら自由に遊泳できる箇所はありません。くれぐれも注意をお願いいたします。

また、インターネット等の利用によるSNS上での事件やトラブルも大変心配されます。自分が被害に遭わないようにすること、同時に、加害者にならないようその使用については十分注意しマナーを守りましょう。さらに、学校だより6月号でお知らせしたように、休み中に不安や悩みを抱えるケースも増えています。一人で悩まないようにしてください。家族や学校だけでなく、外部機関も積極的に活用するよう心掛けましょう。